

消費税増税が家計に影響を与えると思う人は 9 割以上。
キャッシュレス決済に伴う消費者還元制度の利用意向がある人は 7 割に

- 家計の節約に関する調査 -

URL : <https://insight.rakuten.co.jp/report/20190927/>

楽天インサイト株式会社（本社：東京都世田谷区、代表取締役社長：田村 篤司、以下「楽天インサイト」）は、「家計の節約に関する調査」をインターネットで実施しました。今回の調査は、2019 年 8 月 27 日（火）～8 月 29 日（木）の 3 日間、楽天インサイトに登録しているモニター（約 220 万人）の中から、全国の 20 代から 60 代の男女 1,000 人を対象に行いました。

■□ 調査結果 □■

■消費税増税が家計に影響を与えると思う人は 9 割以上

今年 10 月に予定されている消費税 10%の引き上げは家計にどの程度影響を与えるかを聞いたところ、「影響があると思う（「あまり影響はないと思う」以外の回答率合計）」と回答した人は 94.3%となった。性年代別でも、いずれの性年代も 9 割を超える結果となった。また、「非常に影響がある」「かなり影響がある」と回答した人は総じて男性より女性の方が多く、女性の方が敏感に反応している傾向が見える結果となった。

家族構成別でみると、「非常に影響がある」「かなり影響がある」と回答した人の合計が、既婚（子なし）では 45.4%、既婚（子あり）では 51.9%となり、5 ポイントを超える差を生む結果となった。

◇消費税 10%の引き上げは家計にどの程度影響を与えると思うか

(n=1,000：全員回答) 単一選択 単位：%

			(n)	非常に影響があると思う (30%以上の影響)	かなり影響があると思う (20~30%程度の影響)	やや影響があると思う (10~20%程度の影響)	少し影響があると思う (10%未満の影響)	あまり影響はないと思う	影響があると思う計 (%)
全体		(1,000)		21.7	28.2	31.2	13.2	5.7	94.3
性年代	男性 20代	(81)		23.5	33.3	24.7	14.8	3.7	96.3
	男性 30代	(95)		16.8	27.4	37.9	10.5	7.4	92.6
	男性 40代	(120)		22.5	22.5	32.5	14.2	8.3	91.7
	男性 50代	(99)		22.2	19.2	32.3	18.2	8.1	91.9
	男性 60代	(108)		13.0	25.9	30.6	21.3	9.3	90.7
	女性 20代	(76)		27.6	38.2	27.6	3.9	2.6	97.4
	女性 30代	(92)		20.7	37.0	28.3	9.8	4.3	95.7
	女性 40代	(117)		23.9	28.2	31.6	12.8	3.4	96.6
	女性 50代	(98)		21.4	33.7	29.6	11.2	4.1	95.9
	女性 60代	(114)		26.3	22.8	34.2	12.3	4.4	95.6
家族構成	単身世帯	(158)		21.5	29.1	28.5	17.7	3.2	96.8
	既婚 (子なし)	(282)		18.1	27.3	33.7	14.5	6.4	93.6
	既婚 (子あり)	(343)		22.2	29.7	33.8	10.2	4.1	95.9
	その他 (親との同居等)	(217)		25.8	26.3	25.8	12.9	9.2	90.8

※2.0%未満は非表示

※全体との差が、■は+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下

※小数点第2位以下を四捨五入しているため、合計値は必ずしも100%とならない場合がある

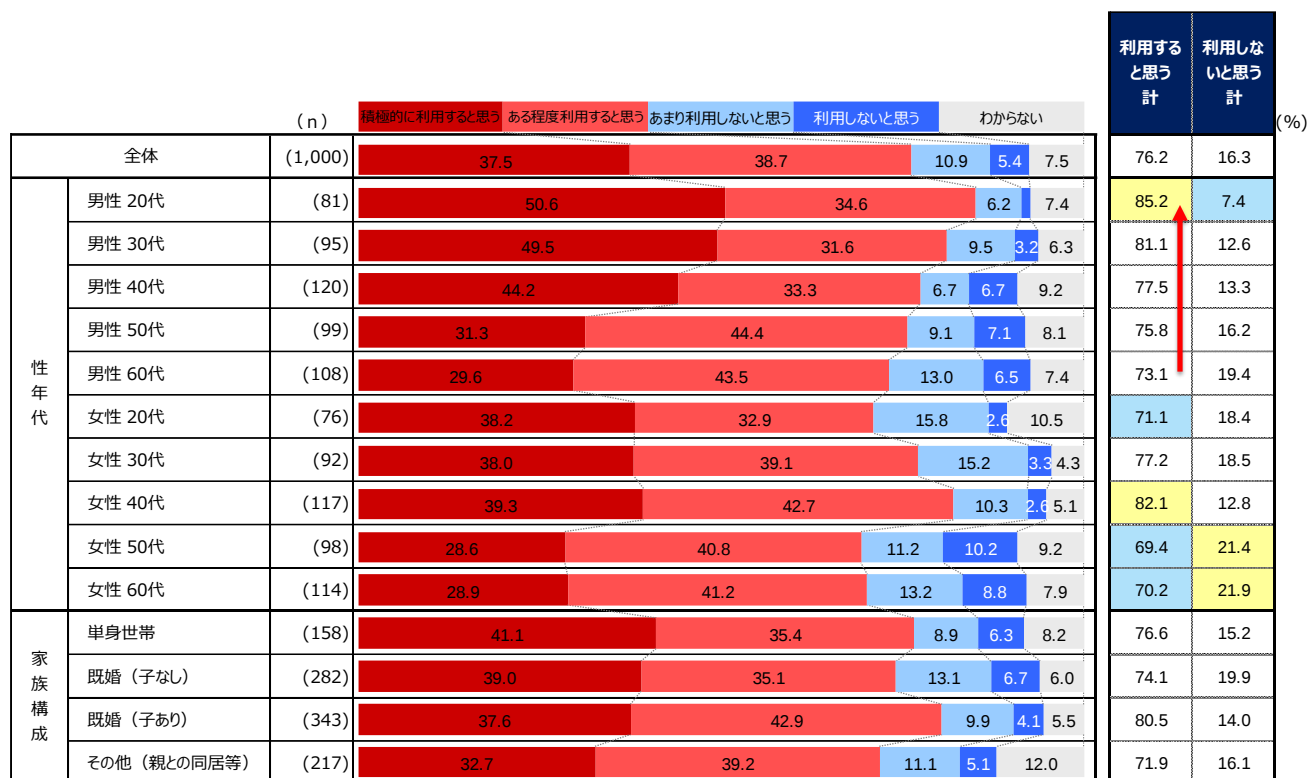
■キャッシュレス・消費者還元事業におけるポイント還元制度の利用意向は 7 割半ば

今年 10 月の消費税増税に合わせて始まる「キャッシュレス・消費者還元事業」におけるポイント還元制度の利用意向について聞いたところ、「利用意向者」(「積極的に利用すると思う」、「ある程度利用すると思う」と回答した人の合計)は 76.2%、「利用非意向者」(「あまり利用しないと思う」、「利用しないと思う」と回答した人の合計)は 16.3%となった。利用意向を性年代別でみると、利用意向が最も高いのは男性 20 代 (85.2%)、次いで女性 40 代 (82.1%) と男性 30 代 (81.1%) が 8 割で続いた。男性では若年層ほど利用意向が高まる傾向となった。家族構成別でみると、既婚 (子あり) 世帯の「利用意向者」が 80.5%で最も多かった。

◇消費税増税に合わせて始まる、キャッシュレス・消費者還元事業（※）におけるポイント還元制度の利用意向

※キャッシュレス・消費者還元事業は、2019年10月1日の消費税率引上げに伴い、需要平準化対策として、キャッシュレス対応による生産性向上や消費者の利便性向上の観点も含め、消費税率引き上げ後の一定期間に限り、中小・小規模事業者によるキャッシュレス手段を使ったポイント還元等を支援する事業です。

（n=1,000：全員回答）単一選択 単位：％



※2.0%未満は非表示
※全体との差が、■は+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下
※小数点第2位以下を四捨五入しているため、合計値は必ずしも100%とならない場合がある

■家計の節約をしている人は7割半ば。女性50代が8割以上でトップ、次に男性20代、30代が続く

現在、家計の節約をしているかを聞いたところ、「節約をしている（「かなりしている」、「ある程度している」と回答した人の合計）」人は76.4%、「節約していない（「あまりしていない」、「全くしていない」と回答した人の合計）」人は23.6%となった。性年代別でみると、女性50代は「節約している」と回答した人が85.7%で最も多く、次いで男性20代（81.5%）と男性30代（80.0%）が8割台にのぼった。家族構成別でみると、家計の節約を「かなりしている」と回答した人が単身世帯では24.1%となり最も多い結果となった。

◇現在、家計の節約をしているか（n=1,000：全員回答）単一選択 単位：％

		(n)	かなりしている	ある程度している	あまりしていない	全くしていない	節約している計	節約していない計	(%)
全体		(1,000)	15.6	60.8	19.9	3.7	76.4	23.6	
性年代	男性 20代	(81)	14.8	66.7	16.0	2.5	81.5	18.5	
	男性 30代	(95)	16.8	63.2	15.8	4.2	80.0	20.0	
	男性 40代	(120)	10.8	60.8	22.5	5.8	71.7	28.3	
	男性 50代	(99)	21.2	48.5	26.3	4.0	69.7	30.3	
	男性 60代	(108)	13.9	64.8	19.4	1.9	78.7	21.3	
	女性 20代	(76)	10.5	60.5	21.1	7.9	71.1	28.9	
	女性 30代	(92)	16.3	58.7	21.7	3.3	75.0	25.0	
	女性 40代	(117)	17.9	58.1	17.9	6.0	76.1	23.9	
	女性 50代	(98)	19.4	66.3	12.2	2.0	85.7	14.3	
	女性 60代	(114)	14.0	61.4	24.6	0.0	75.4	24.6	
家族構成	単身世帯	(158)	24.1	55.7	17.7	2.5	79.7	20.3	
	既婚（子なし）	(282)	10.6	62.4	23.0	3.9	73.0	27.0	
	既婚（子あり）	(343)	14.9	64.4	19.5	1.2	79.3	20.7	
	その他（親との同居等）	(217)	17.1	56.7	18.0	8.3	73.7	26.3	

※2.0%未満は非表示
※全体との差が、■は+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下
※小数点第2位以下を四捨五入しているため、合計値は必ずしも100%にならない場合がある

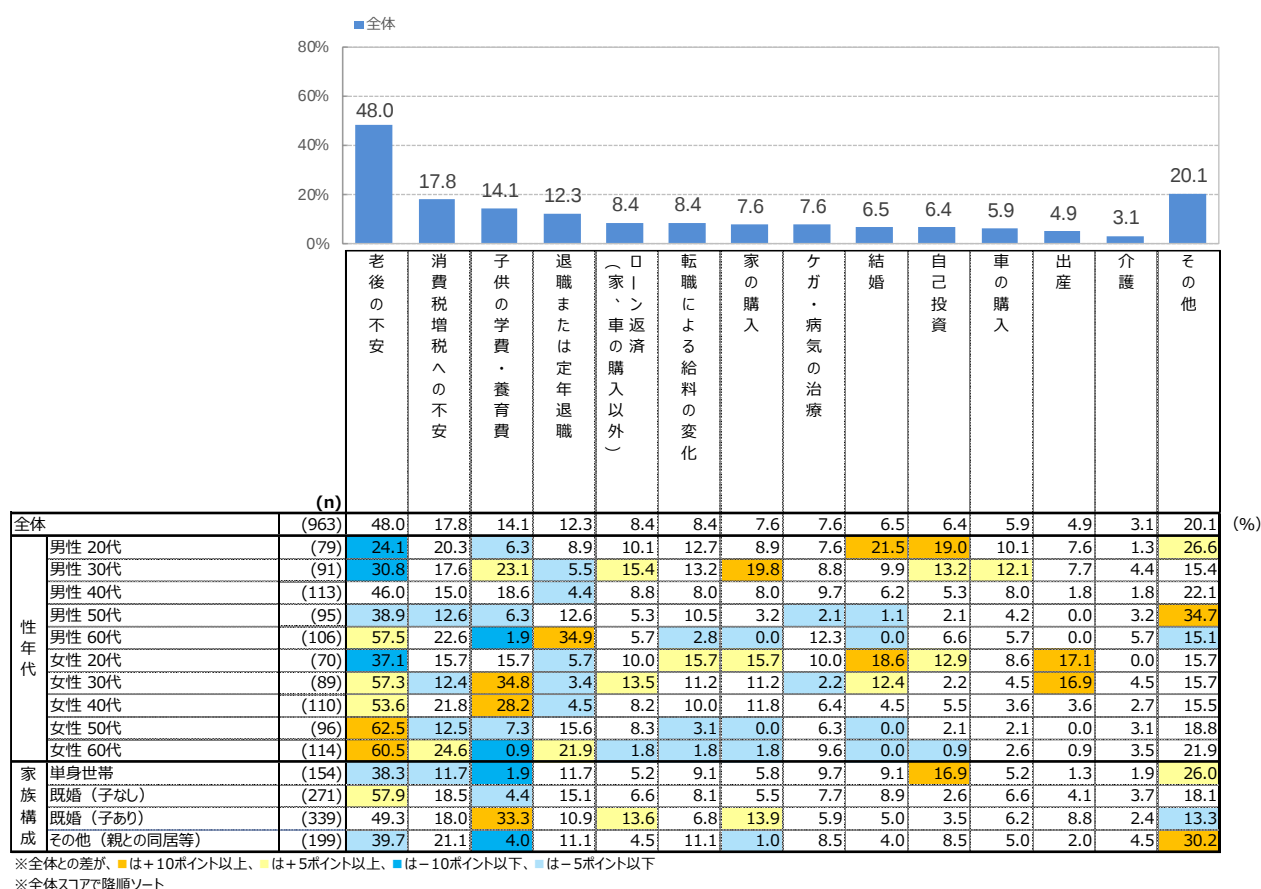
■節約しようと思うきっかけは「老後の不安」が5割弱

節約しようと思うきっかけは何かを聞いたところ、「老後の不安」（48.0％）と回答した人が半数近くでトップ、次いで「消費税増税への不安」（17.8％）、「子供の学費・養育費」（14.1％）、「退職または定年退職」（12.3％）が1割台で続いた。

性年代別でも「老後の不安」がきっかけのトップだが、その次にあがる回答に違いがみられた。男性は、20代で「結婚」（21.5％）、「自己投資」（19.0％）、30代で「家の購入」（19.8％）、60代で「退職または定年退職」（34.9％）が上位にあがった。一方、女性は、20代～30代で「出産」、30代～40代で「子供の学費・養育費」、50代～60代で「老後の不安」が、きっかけの上位としてあがり、ここでも男女差が見られた。

家族構成でみると、単身世帯では「自己投資」（16.9％）、既婚（子あり）世帯で「子供の学費・養育費」（33.3％）と回答した人が他の世帯と比べ多かった。

◇節約しようと思うきっかけ（n=963：家計を節約している人）複数選択 単位：％



■生活費の出費額を把握している人は7割。全年代において、男性より女性の方が出費額を把握している結果に

毎月の生活費の出費額を把握しているかを聞いたところ、「把握している（「必ず把握している」、「大体把握している」と回答した人の合計）」人は71.1%、「把握していない（「あまり把握していない」、「全く把握していない」と回答した人の合計）」人は28.9%となった。性年代別でみると、女性は男性に比べ全年代において「把握している」人が多く、特に女性30代～60代では8割近かった。一方、男性の40代～60代で「把握している」人は約6割の結果となった。家族構成別でみると、単身世帯では「把握している」（81.6%）人が約8割と他の世帯の結果を上回った。

◇毎月の生活費の出費額の把握状況（n=1,000：全員回答）単一選択 単位：％

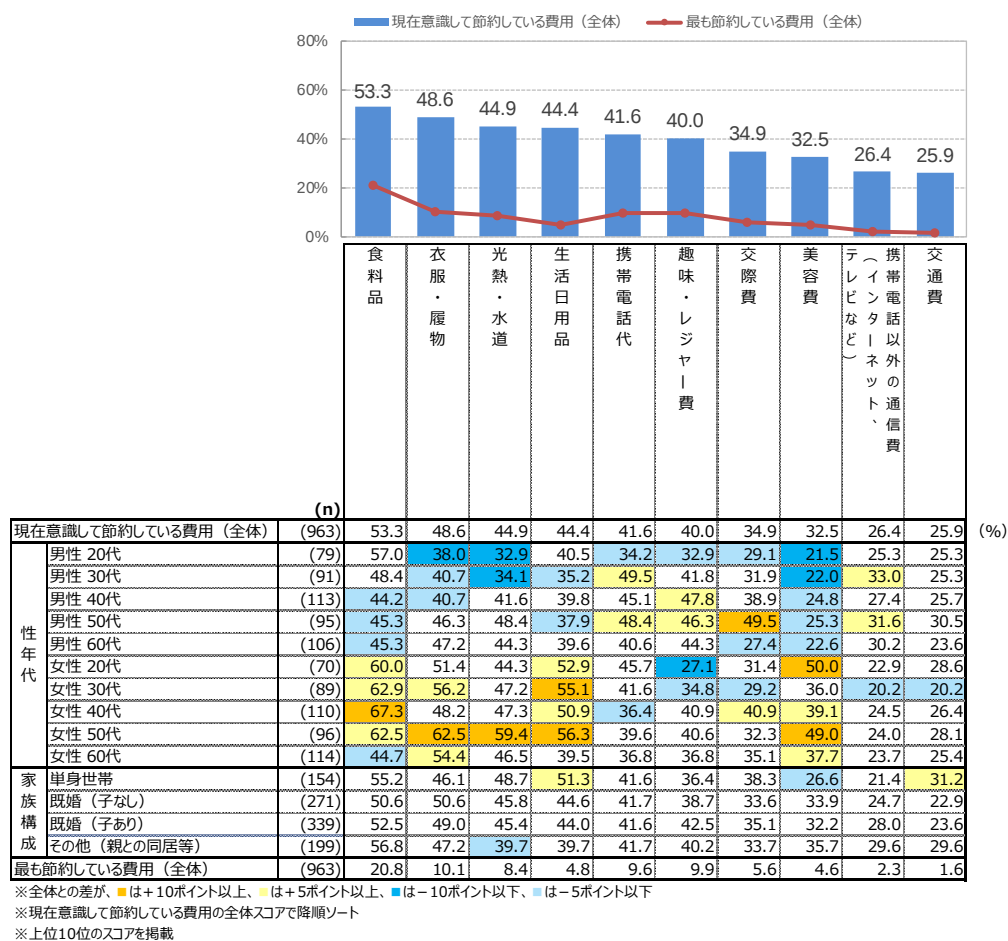
		(n)	必ず把握している	大体把握している	あまり把握していない	全く把握していない	把握している計	把握していない計	(%)
全体		(1,000)	18.0	53.1	22.3	6.6	71.1	28.9	
性 年 代	男性 20代	(81)	17.3	51.9	27.2	3.7	69.1	30.9	
	男性 30代	(95)	11.6	57.9	24.2	6.3	69.5	30.5	
	男性 40代	(120)	10.0	50.8	26.7	12.5	60.8	39.2	
	男性 50代	(99)	22.2	41.4	25.3	11.1	63.6	36.4	
	男性 60代	(108)	12.0	48.1	35.2	4.6	60.2	39.8	
	女性 20代	(76)	17.1	56.6	18.4	7.9	73.7	26.3	
	女性 30代	(92)	21.7	56.5	16.3	5.4	78.3	21.7	
	女性 40代	(117)	16.2	62.4	14.5	6.8	78.6	21.4	
	女性 50代	(98)	32.7	45.9	19.4	2.0	78.6	21.4	
	女性 60代	(114)	21.1	58.8	15.8	4.4	79.8	20.2	
家 族 構 成	単身世帯	(158)	29.7	51.9	15.2	3.2	81.6	18.4	
	既婚（子なし）	(282)	16.3	51.8	27.0	5.0	68.1	31.9	
	既婚（子あり）	(343)	18.7	55.7	18.4	7.3	74.3	25.7	
	その他（親との同居等）	(217)	10.6	51.6	27.6	10.1	62.2	37.8	

※2.0%未満は非表示
※全体との差が、■は+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下
※小数点第2位以下を四捨五入しているため、合計値は必ずしも100%とならない場合がある

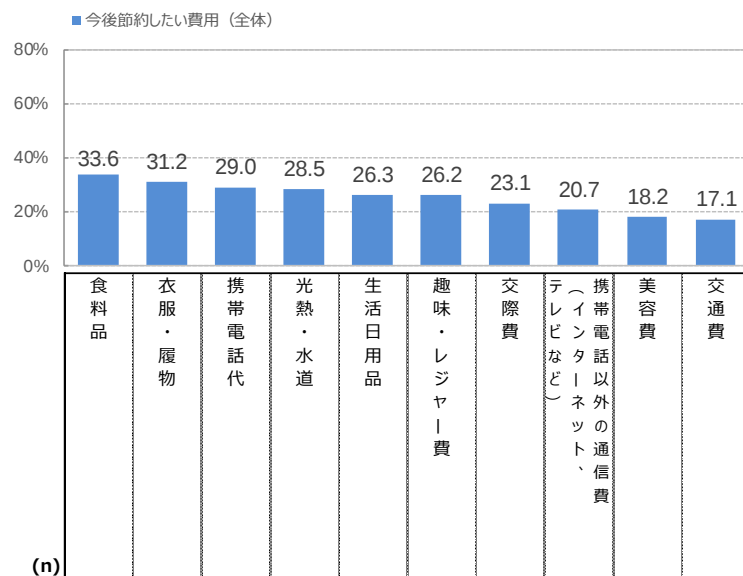
■節約している費用は「食料品」が過半数でトップ、「衣服・履物」と「趣味・レジャー費」が続く。
今後節約したい費用には「携帯電話代」も

現在、意識して節約している費用について聞いたところ、「食料品」（53.3％）がトップ、次いで「衣服・履物」（48.6％）、「光熱・水道」（44.9％）、「生活日用品」（44.4％）などが4割台で続いた。また、最も意識して節約している費用を聞いたところ、「食料品」（20.8％）と「衣服・履物」（10.1％）に次いで、「趣味・レジャー費」（9.9％）、「携帯電話代」（9.6％）が上位にあがった。今後節約したい費用については「食料品」（33.6％）、「衣服・履物」（31.2％）、「携帯電話代」（29.0％）が上位3位となった

◇現在意識して節約している費用（n=963：家計を節約している人）複数選択 単位：％



◇今後節約したい費用（n=963：家計を節約している人）複数選択 単位：％



今後節約したい費用（全体）		(n)	33.6	31.2	29.0	28.5	26.3	26.2	23.1	20.7	18.2	17.1	(%)
性年代	男性 20代	(79)	34.2	25.3	22.8	21.5	22.8	20.3	12.7	19.0	10.1	17.7	
	男性 30代	(91)	38.5	27.5	29.7	25.3	26.4	27.5	23.1	30.8	16.5	20.9	
	男性 40代	(113)	22.1	29.2	31.0	23.0	27.4	32.7	26.5	19.5	15.0	20.4	
	男性 50代	(95)	27.4	25.3	31.6	26.3	22.1	27.4	29.5	20.0	9.5	13.7	
	男性 60代	(106)	28.3	27.4	31.1	18.9	21.7	28.3	21.7	22.6	9.4	17.0	
	女性 20代	(70)	44.3	27.1	28.6	22.9	25.7	20.0	24.3	12.9	24.3	20.0	
	女性 30代	(89)	33.7	31.5	37.1	36.0	31.5	22.5	24.7	16.9	23.6	21.3	
	女性 40代	(110)	40.0	38.2	31.8	34.5	36.4	28.2	27.3	23.6	29.1	16.4	
	女性 50代	(96)	42.7	37.5	22.9	38.5	26.0	26.0	14.6	21.9	21.9	11.5	
	女性 60代	(114)	30.7	38.6	22.8	35.1	21.9	24.6	23.7	17.5	21.9	14.0	
家族構成	単身世帯	(154)	33.1	30.5	27.9	27.3	24.0	18.2	23.4	19.5	15.6	13.6	
	既婚（子なし）	(271)	34.3	33.6	29.9	28.0	28.0	25.5	24.0	21.0	17.7	15.1	
	既婚（子あり）	(339)	33.0	31.0	31.0	29.8	26.8	28.6	20.1	22.1	18.3	17.4	
	その他（親との同居等）	(199)	34.2	28.6	25.1	27.6	24.6	29.1	26.6	18.6	20.6	22.1	

※全体との差が、■は+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下

※今後節約したい費用の全体スコアで降順ソート

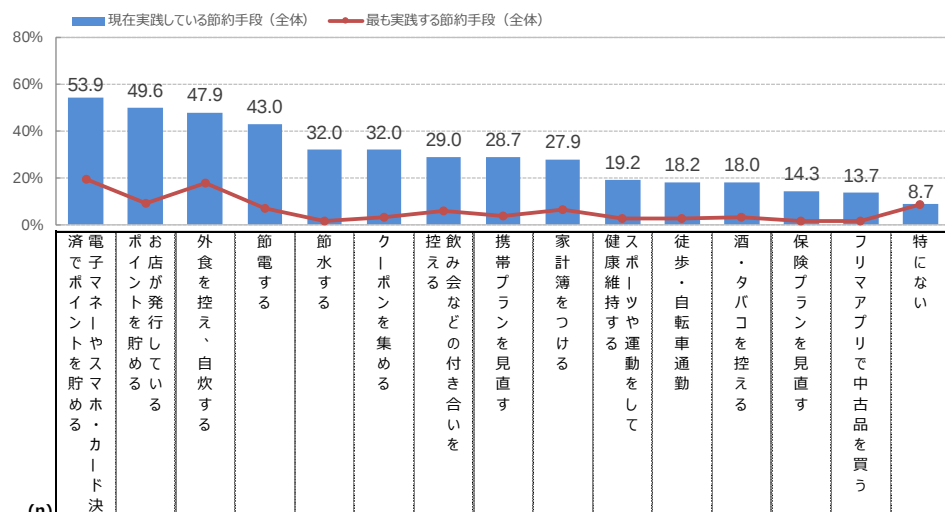
※上位10位のスコアを掲載

■家計を節約する人が実践する節約手段、「電子マネーやスマホ・カード決済でポイントを貯める」が過半数でトップ。今後実践したい節約手段でも3割強

家計を節約している人に現在実践している節約手段を聞いたところ、「電子マネーやスマホ・カード決済でポイントを貯める」（53.9％）と回答した人が最も多く、次いで「お店が発行しているポイントを貯める」（49.6％）、「外食を控え、自炊する」（47.9％）、「節電する」（43.0％）が4割台と続いた。今後実践したい節約手段でも、「電子マネーやスマホ・カード決済でポイントを貯める」と回答した人が32.1％で最も多かった。

性年代別でみると、女性は全年代において「お店が発行しているポイントを貯める」と回答した人が男性のスコアを上回った。また、女性20代と30代は、「フリマアプリで中古品を買う」と回答した人が他の性年代に比べ多く、2割を超えた。

◇現在実践している節約手段（n=963：家計を節約している人）複数選択 単位：％



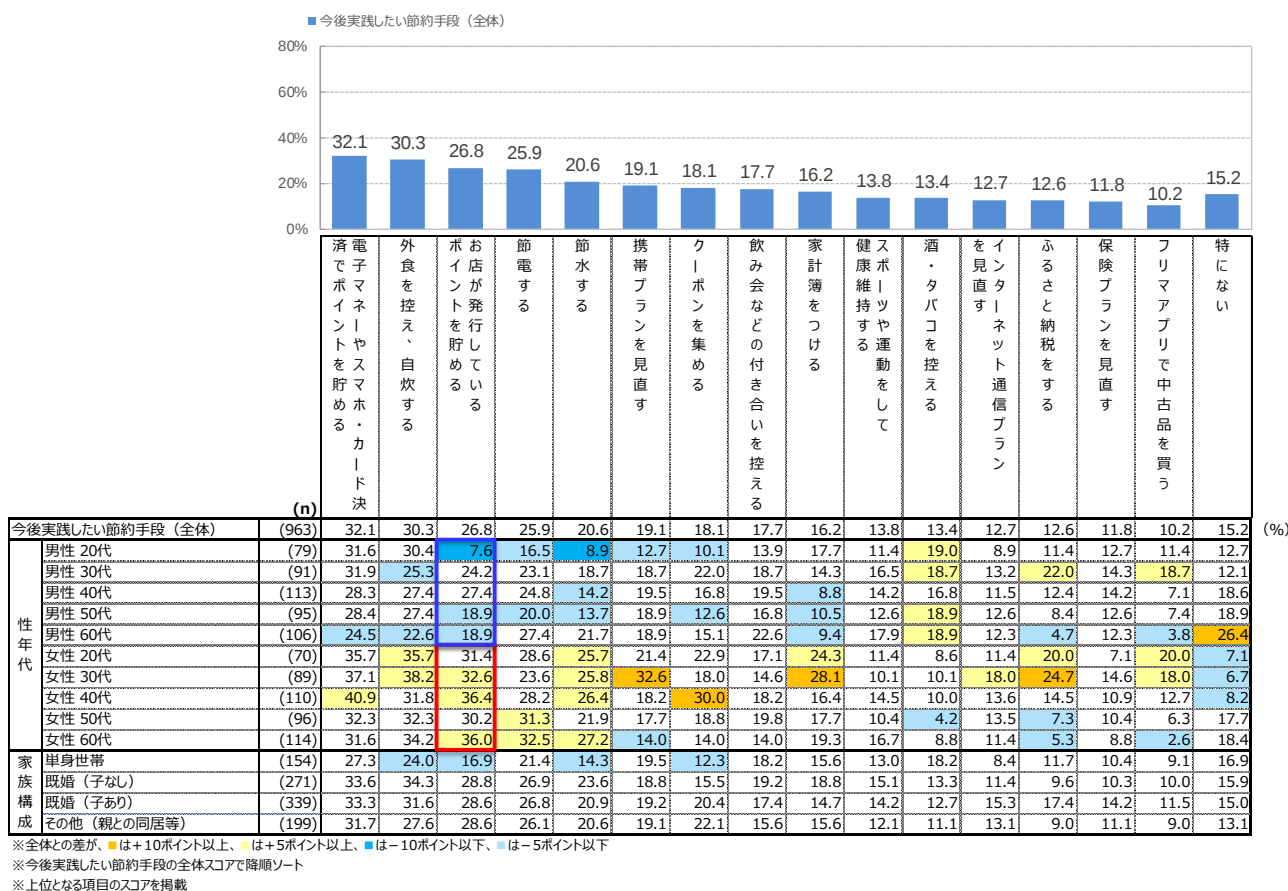
		(n)	現在実践している節約手段（全体）	男性 20代	男性 30代	男性 40代	男性 50代	男性 60代	女性 20代	女性 30代	女性 40代	女性 50代	女性 60代	家族構成	最も実践する節約手段（全体）
		(963)	53.9	64.6	60.4	53.1	46.3	43.4	54.3	62.9	59.1	52.1	47.4	単身世帯	19.4
性年代	男性 20代	(79)	49.6	45.6	41.8	41.6	29.5	39.6	57.1	73.0	63.6	51.0	51.8	既婚（子なし）	9.0
	男性 30代	(91)	47.9	50.6	36.3	45.1	40.0	39.6	42.9	62.9	52.7	52.1	47.4	既婚（子あり）	17.5
	男性 40代	(113)	43.0	39.2	26.4	38.9	29.5	22.6	38.6	42.7	48.2	41.7	44.7	その他（親との同居等）	6.9
	男性 50代	(95)	32.0	30.4	39.6	19.5	40.0	23.6	35.7	37.1	44.5	35.4	36.8		1.7
	男性 60代	(106)	32.0	31.6	31.9	34.5	26.3	23.6	24.3	22.5	27.3	24.0	21.9		3.1
	女性 20代	(70)	29.0	35.4	26.4	40.7	14.7	16.0	34.3	36.0	25.5	20.8	14.0		5.9
	女性 30代	(89)	28.7	24.1	23.1	15.9	17.9	23.6	34.3	51.7	32.7	34.4	33.3		3.4
	女性 40代	(110)	27.9	25.3	17.6	21.2	12.6	12.3	8.6	12.4	15.5	10.4	29.8		6.2
家族構成	女性 50代	(96)	19.2	17.9	17.6	16.8	21.1	21.7	20.0	21.3	18.2	20.8	17.5	単身世帯	2.6
	女性 60代	(114)	18.2	14.3	13.9	17.7	10.5	10.4	14.3	14.6	12.7	12.5	11.4	既婚（子なし）	2.8
	既婚（子あり）	(339)	18.0	13.9	19.8	18.7	5.3	18.9	27.1	25.8	16.4	11.5	3.5	既婚（子あり）	3.2
	その他（親との同居等）	(199)	14.3	16.5	15.6	9.7	2.9	3.4	2.7	2.7	2.7	9.4	13.2	その他（親との同居等）	1.7
最も実践する節約手段（全体）		(963)	8.7	5.1	7.7	5.3	15.8	18.9	2.9	3.4	2.7	9.4	13.2		8.7

※全体との差が、■は+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下

※現在実践している節約手段の全体スコアで降順ソート

※上位となる項目のスコアを掲載

◇今後実践したい節約手段（n=963：家計を節約している人）複数選択 単位：％



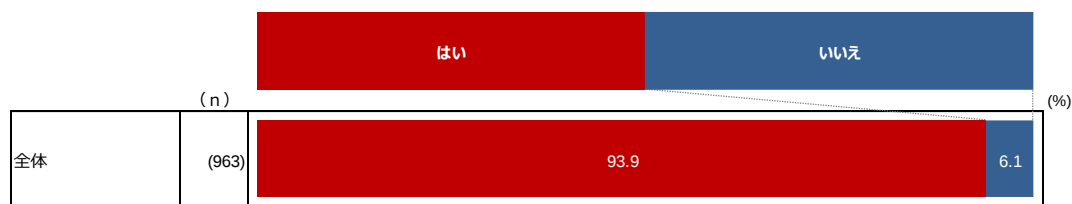
■家計を節約している人の9割以上が共通ポイントを活用

家計を節約している人に買い物の際に共通ポイントを活用しているかを聞いたところ、全体の93.9%は「はい」と回答、ほとんどの人が活用していることがわかった（※）。共通ポイントの使い方についても聞いたところ、「オンラインショッピング」（54.9%）と回答した人が最も多く、次いで「コンビニ」（34.0%）、「薬局・ドラッグストア」（28.0%）、「スーパーマーケット」（25.2%）が続いた。性年代別でみると、女性20代は「旅行・ホテル」（23.4%）、「フリマアプリ」（17.2%）での活用が他の性年代に比べ高い傾向がみられた。

（※）弊社パネル会員は楽天ポイントクラブ会員でもあるため、ポイントクラブ非会員に比べてポイント活用に対する意識が高い傾向がある。

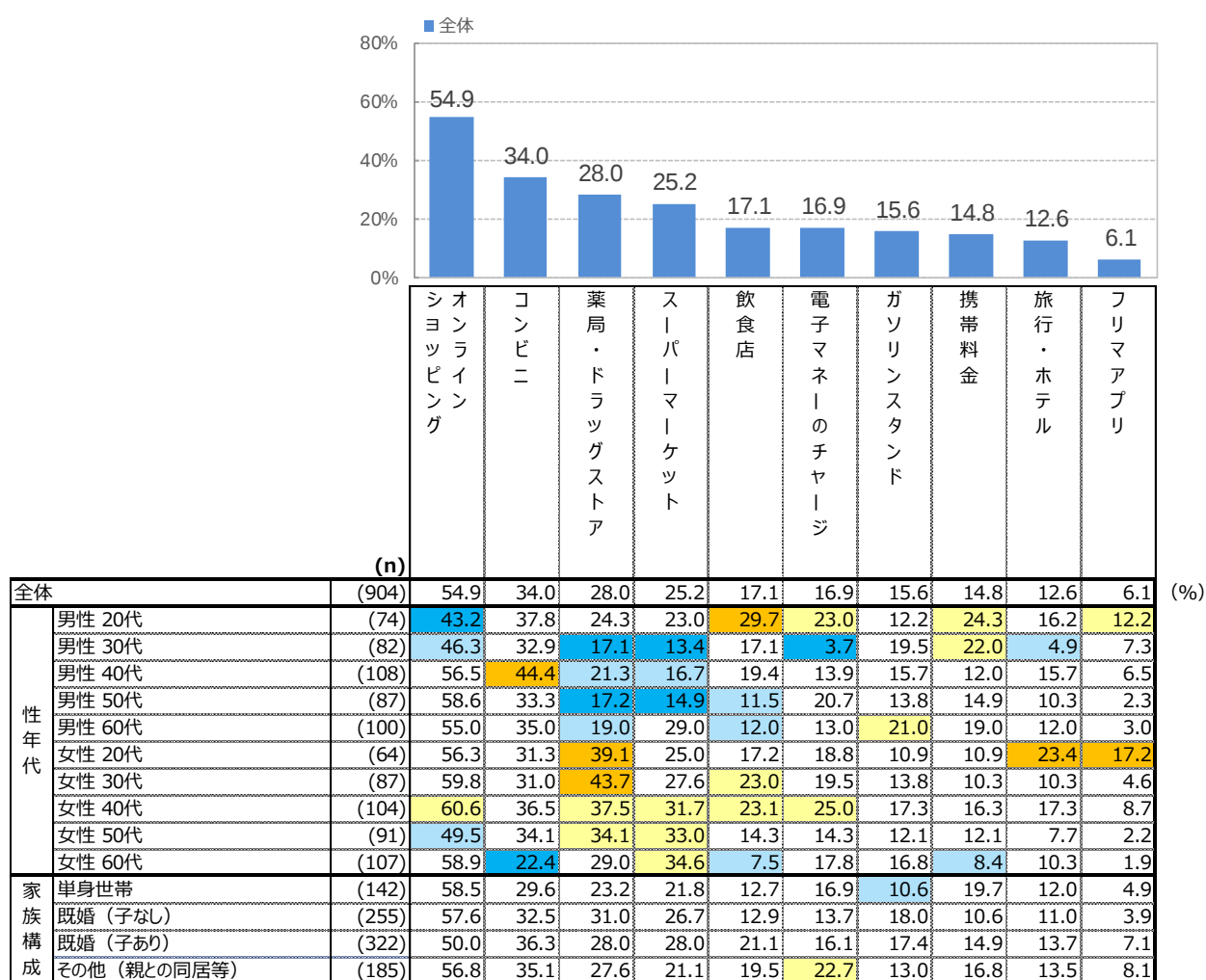
◇買い物の際における共通ポイントの活用について（n=963：家計を節約している人）単一選択 単位：％

※「楽天スーパーポイント」、「Tポイント」など提携店舗での買い物やサービス利用で付与されるポイント



◇共通ポイントの利用方法（n=904：共通ポイントを活用している人）複数選択 単位：％

※「楽天スーパーポイント」、「Tポイント」など提携店舗での買い物やサービス利用で付与されるポイント



※全体との差が、■は+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下

※全体スコアで降順ソート

※上位となる項目のスコアを掲載

【調査概要】

調査エリア : 全国
調査対象者 : 20 歳～69 歳 男女
回収サンプルサイズ : 1,000 サンプル
調査期間 : 2019 年 8 月 27 日～8 月 29 日
調査実施機関 : 楽天インサイト株式会社

以 上